



当別町の未来を考える



町の経済発展のため、意見交換や勉強会を行う未来塾が開催されました。

講演では、新篠津村で年間1億円を生産・販売する(有)大塚ファーム代表取締役社長の大塚裕樹氏を講師に招き、「儲かる農業、魅力ある農業とは何か」について聴きました。

良い経営には、目標設定が大切と考え、30代で人生のピークとなる目標を立て、良い農家の経営を研究、看板の設置や研修生の受け入れなどさまざまな取り組みを披露しました。参加者は、大塚氏の農業経営に対する熱い想いに聴き入っていました。(4月4日)

雪解けと春の訪れ



積雪が少なく感じたこの冬ですが、当別ダムには水不足を心配する必要がないほどの豊富な雪解け水が貯められています。

取材当日は、ダムの越流部から大量の水が「ゴォー」と音を立てて流れでていました。当別ダムを写真におさめるのは、この雪解け時期が一番が良いのではないのでしょうか。

写真を撮っていたすぐ横の道路脇では、春の訪れを告げる「ふきのとう」も咲いていて、ダムと一緒に撮影してみました。当別の北部青山地域まで春が来ていることが感じとれました。

(4月6日)

道の青年林業士認定



獅子内在住の吉尾純一さんが北海道青年林業士に認定されました。

青年林業士とは、地域の森林づくりに強い熱意と意欲をもち、指導性を有する後継者で、吉尾さんは祖母が所有する18haの森林の維持管理を行っています。

今後も地域林業の模範となるような活躍を期待します。

(3月25日)



優しさを伝えるケア技術



町介護者と共に歩む会は、あつたかプランとうべつ木村晃子さんを講師に「認知症講演会」を開催し、町民約50人が参加しました。

講演会では筒状の紙を目に当て、認知症の方と同様の視界が狭い状況を体験。認知症の方に接する時には、遠くからゆっくり視界に入り、大きな動作をしながら近づき驚かせないことが大切。

また、「見つめる・話しかける・触れる・立つ」の動作を徹底することで優しさを伝え、人間関係を修復する「ユマニチュード」というフランス発祥のケア方法を身近な具体例や動画を用いて伝えていました。 (4月15日)

安全運転者を表彰



当別町交通安全推進委員会主催による模範的安全運転者6人への表彰式が行われました。

表彰基準となる優良ドライバーになるには、運転免許を取得してから日々の生活で車の運転を行い、20年以上の無事故無違反が条件となります。

【受賞者】
くさかべふみよし 日下部二三良さん、近藤悦子さん
高木隆さん、山形信孝さん
滝沢健さん、望月隆志さん
※表彰式当日は、受賞者1人が欠席しています。

(4月18日)



広告

広告

広告

広告